

地域密着型サービスの自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の中に入っているが具体的な内容ではない。	○	事業所独自の理念作りをし、より支援に反映するよう努めたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	様々な場面で相談しスタッフと話しあいながら実践している。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会や個別面談、運営推進会議等で説明している。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣が遠いので頻繁ではないが交流は差し入れなど持ってきて下さる。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進会議等で色々な情報を提供し交流が広がるように働きかけをしている。	○	様々の行事や交流の場を考え計画的に実践していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等 の暮らしに役立つことがないか話し合 い、取り組んでいる	近隣の高齢者の状況や認知症がある 方の情報などを交換し介護相談など に応じることができるようにしてい る。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価 及び外部評価を実施する意義を理 解し、評価を活かして具体的な改 善に取り組んでいる	実施する意義を理解しているが具 体的な改善にいたっていない項目 もある。	○	自己評価を再学習し全員で取 組みながらその意義を理解し より支援の内に実践できるよう に取り組んでいきたい。
8	○運営推進会議を活かした取 組み 運営推進会議では、利用者やサー ビスの実際、評価への取組み状 況等について報告や話し合いを 行い、そこの意見をサービス 向上に活かしている	定期的を開催し家族にも交代で 参加してもらい、そこで提案さ れたことなど実践できるよう話 し合いをしている。	○	運営推進会議メンバーに自己 評価、外部評価、家族アンケート の結果を公表し意見をあおぎ それを実践、検討していける ような体制にしたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運 営推進会議以外にも行き来する 機会をつくり、市町村とともに サービスの質の向上に取り組ん でいる	事故報告書や入所相談内容、苦 情等を運営推進会議へ定期的 に報告し他事業所の情報をも らいながらサービスにつなげ るようにしている。	○	運営推進会議の内容も見直し つつ市町村、他事業所、地域 とも連携できるよう努めたい。
10	○権利擁護に関する制度の理 解と活用 管理者や職員は、地域権利擁 護事業や成年後見制度について 学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、必要 な人にはそれらを活用できる よう支援している	権利擁護制度については理 解はしているが利用はしてい ない。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待 防止関連法について学ぶ機会 を持ち、利用者の自宅や事業 所内で虐待が見過ごされな いよう注意を払い、防止に 努めている	研修会に出席し報告、勉強会 をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約時家族、本人の不安、今後の方針等を聞き十分な説明をおこない同意を得ている。	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	運営推進会議の中で報告をし反映させている。	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	面会時、電話にて状態、暮らしぶりを報告しているが定期的ではない。金銭管理は表を作りサインをもらっている。たよりにて暮らしぶりは簡潔的に報告している。	○ 利用者の暮らしぶりについては1～2ヶ月の様子を手紙にて報告できるような体制を整えたい。たよりの中身の内容を濃くしていくよう取り組んでいきたい。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	意見、不満、苦情がある時はすぐに対応できる体制はつくっている。運営推進会議のなかでも意見等聞く機会はある。苦情箱も設置しているが反映されていない。	○ 家族との話し合う機会を多くもうけ、日中常に管理者がいるような体制にもっていききたい。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	意見、提案をあげるが反映されてない時もある。	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	会議、職員間での相談にて勤務の調整をしている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>職員の移動、職員採用は必要最小限に抑えるよう努力はしている。</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> <p>育成するための計画は具体的でない。研修、勉強会は行なっている。</p>	○	<p>OFF-JTの確保をしていき職員に対して的確に助言、指導、動機づけをしていけるよう計画をたて人材育成に取り組んでいきたい。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> <p>町内のグループホームとの合同運営推進会議、ブロック研修等で交流の機会がある。</p>	○	<p>他事業所との交流できる機会をたくさんもち情報交換、ネットワーク作り等を通じサービスの向上に努めていきたい。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p> <p>職員のストレスについては取組んでいない。各自でストレス軽減に努めている。</p>	○	<p>外部者との接する機会、悩みの聴取、職員相互の親睦を取り入れストレス解消の方策を取組んでいきたい。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p> <p>把握をしており、各自向上心をもち働いている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	自宅や入院先に出向き本人と面談しコミュニケーションを取り必要に応じ全職員が交代で出向き本人の不安を解消できるよう工夫している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時からなるべく一人の職員が関わるようにしている。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	同事業所内の居宅やデイサービスにも相談し本人にとって本当に入所が必要か検討する場がある。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が馴染めるよう利用（泊まり）の練習ができるようにしている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人が望む呼び名や方言でコミュニケーションを図り感情表現がうまくできるように寄り添う支援を心掛けている。	○ 業務が忙しい時など本人の気持ちに沿わない支援をしている事があるので業務内容を見直しながらかゆりのある支援ができるよう努めていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の介護力を引き出せていないこともある。	○	一家族一家族に出来る支援を相談しながら介護に参加してもらおう。家族にむけた勉強会も今後検討していきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ケースによっては(遠方など)関係が築けない場合もあるので家族を含めた相談をしながら工夫していきたい。	○	遠方でもコミュニケーションが取りやすいように手紙や電話、メールなどを活用したい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の生活歴や環境の把握には努めているが具体的に支援には反映されていない。	○	個別に馴染みの場所、人と交流できるような機会をつくりたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個人の性格を把握しトラブルにならないよう仲介に入っている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用が終了しても面会に行くなどしてコミュニケーションをとっている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	できるだけ自分の好きな事、出来る事をしてもらった。	○ ぬり絵、唄、三味線弾き、畑仕事、草取り、ボール遊びなど行なっている。今後は一人一人の思い、希望の把握に努めていきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴、生活環境、経過等の把握に努めている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	アセスメントをとり職員一人一人担当を持ち心身状態や一日のリズムを把握している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	チームでの話し合いにての介護計画は作成していない。	○ 本人、家族を含め係り付け医、包括支援センター職員、事業所以外のメンバー等を含め話し合う機会を作り介護計画を作成できるよう実践していきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直しは行なっている。身体、精神状態、ADL低下の変化が見られた時新たな計画を作成している。	○ 業務におわれなかなか家族とのカンファレンスをする機会があまり取れないため業務内容を見直しカンファレンス出来る体制作りをしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	観察記録にて一日の様子、ケアの実践を個別に記入している。記録をもとに介護計画の見直しをしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	温泉が出ており同敷地内のデイサービスセンターへ足浴にいたり支援している。	○	デイサービスに歩行浴があり時間をつくり支援していきたい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会にて働きかけているが実践できていない。	○	今後、ボランティアの要請、教育機関などに協力を得、協働できるよう勤めていきたい。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	退所前、身体状況の変化の時他事業者との相談、話し合いを行なっている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括的、継続的ケアマネジメント支援事業にて介護計画の検証訪問があり指導、助言をもらっている。	○	今後も包括支援センターと連携をとり協働していくよう取り組みたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	契約時協力病院の説明を行い家族の意向を聞いて適切な医療を受けるよう支援している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の専門医との関係はできていない。	○	今後精神症状の治療の面で相談、支援をしていかなければならないと思うので経営者へ相談し検討していきたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	高原病院の看護師職員と連携をとり支援しているが十分ではない。デイサービス看護職員へ相談等行い支援している。	○	こちらから協力病院の看護師職員へ働きかけ相談、支援していく体制をとれるよう整えていきたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係のケースワーカー、看護師長と情報交換、相談をおこない連携をとっている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在医療連携体制加算は一部の職員は理解しているが利用していない。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ターミナルケアはいまの段階では準備、検討もしていない。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>家族、関係者職員と連携とりながら本人が不穏状態等ならないようにつとめている。</p>	
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>十分注意しながら声掛け、対応をしている。個人情報の同意書も家族よりいただいている。</p>	
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>自分がしたいこと、希望を聞いて出来るだけ実現できるよう介護計画に組み込んだりしているが自己決定まではうまくできていない。</p>	<p>○</p> <p>利用者の気持ち、希望を再度聞いて自己決定ができる支援体制にもっていききたい。</p>
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人の過ごしたいように支援できるよう心掛けている。</p>	<p>○</p> <p>業務が忙しい時等職員側のペースになることがある為業務の見直しをおこない一人ひとりのペースを大事に希望にそえるよう支援ができるよう努めていきたい。</p>
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>月1回の散髪を行なっている。本人の望む店には家族に協力していただいている。女性はマニキュアもするときもある。見だしなみに関しては職員が選んでいるものが多い。</p>	<p>○</p> <p>出来るだけ洋服は利用者を選んでもらえる体制作りに努めていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	○	<p>簡単な物から一緒に作ったり（おやつ作り）する機会を作りたい。</p>
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	○	<p>本人の好きな物を聞き入れ日常的に楽しめるよう工夫し支援していきたい。</p>
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	○	<p>トイレの場所が分からない利用者、色々な場所への放尿もみられるのでサインを見逃さないよう支援している。</p>
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	○	<p>職員間で話し合い利用者が好きな時に入れる支援作りをしていきたい。</p>
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>昔の職歴、生活歴を活かしてきたことや、趣味などを主に、プランの中へ取り入れ支援している。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金に関しては職員にて管理しており利用者が所持し使えるようには支援できてない。	○	買い物は主に職員がしており、時に利用者連れて行っているがお金は職員が支払っている為、なるべく徐々に機会を作り支援できるように努めていきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、同敷地内のデイサービスセンターの足浴等に出かけ支援している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別に家族と出かける機会をできるだけ支援していくようにしている。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	現在電話、手紙のやりとりができるような支援はできてない。	○	電話を使用したり、手紙、はがき等にてやり取りができるように支援していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等気軽に訪問できるようにしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしないようケアに取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>職場内での緊急時応急手当、救急法の勉強会を実施していきたい。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>計画をたて地域住民の人々に協力得よう実施していきたい。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクは一人一人ある為あらかじめ家族への説明を行い意向、相談をうけ話している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化があれば病院、家族へ連絡すみやかに対応している。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類は観察記録台帳に綴じているので職員の皆さん把握している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食物繊維のある食材を使用したり水分の摂取を促したり運動をするよう働きかけている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声掛け、見守りを行い口腔ケアの支援を行なっている。お茶を使用し口をゆすいでいる。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の状態、咀嚼力、嚥下状態を観察しミキサー食、刻み、荒刻みにして提供している。食べる量、水分量はチェック表に記載している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染マニュアルを作成している。インフルエンザの予防接種も行なっている。（職員）又勉強会等でも予防、対応の勉強をしている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁など消毒し職員間で徹底している。新鮮な食材を使用し管理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家族、近隣住民、外部の方等自由に出入りできるようにしている。玄関前には庭木を植えている。	○	入り口の門、玄関周りが殺風景である為再度検討し工夫していきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下は広く開放感がある。居間に畳みのスペースもある。全体的に太陽の光が入り落ち着いて過ごされている。季節感の掲示物を張ったり行事の写真を掲示している。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	なごみにソファがあり気軽に他利用者と対話でき一人で過ごせたり出来る。楽しみ所にはテレビがあり視聴されたりされる。	○	少し殺風景なところも感じられるところもあり利用者の状態等をふまえながら工夫して取り組みたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	昔から使用しているなじみの物を持ってきてもら い快適に過ごせるよう配慮している。なかには殺 風景な居室もある。	○	本人に合った環境づくりを家族、利用者とし合 いながら協力を得てその人らしい居室作りに努め たい。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	毎日換気をしている。空調の調整は利用者の状況 に応じて配慮している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	開放感があり廊下、浴室、トイレに手すりを備え 付け自立した生活ができるよう配慮している。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	かわや、なごみ、お台場と昔読んでいた目印を置 き混乱しないよう工夫している。また居室前には 本人の部屋が分かるよう写真等飾っている。間 違って他人の居室へはいる時はさりげなく声をか けて支援している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	居室よりすぐベランダへでられるようになってお りそのまま庭にも出れるようになっている。畑も あり散歩などもできる。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
		○	③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		①毎日ある
		○	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)